

# 「不足」の可算性：SHORTAGEとLACK --2-- Countability of SHORTAGE and LACK (2)

日 木 満

## 1 はじめに

本稿（第2部）は前稿（日木(1997)）に引き続き日本語の「不足」に相当する英語の2つの名詞（SHORTAGEとLACK）の可算性について考察する。前稿では辞書とコーパスのデータを基に両者の可算性選択にまつわる筆者の疑問点を検討した。本稿の目的は、英語母国語話者の判断データを基にその疑問点の解明を試みることである。

## 2 疑問点の整理

まず、辞書とコーパスのデータ分析から生じたSHORTAGEとLACKの可算性についての疑問点を整理する。疑問点には、すでに前稿で問題提起したものの他に、その後の考察から新たに生じたものも若干あるので、以下に加えて説明する。なお、前稿同様、不足しているもの、つまり、「水不足」「睡眠不足」などにおける「水」「睡眠」に相当する部分をXで置き換えて表現する。

### 2.1 [SHORTAGE of X]の構造について

前稿のコーパスデータを基にした可算性別の頻度分析でわかったことは、分析の対象とした総数315件の内、8割強が単数形、1.5割が複数形という結果であった。不可算形は例外的と思われ、したがって、この構造でのSHORTAGEの可算性選択の関心は、実質上、単数形か複数形かの選択ということになった。さらに、圧倒的多数は単数形であることを鑑みると、この構造で特にSHORTAGEが複数形になるのはどのような状況か、が筆者としては最大の関心事になる。前稿執筆の段階で、主な疑問点としては以下の2点があげられた。

(1) Xの項目数はSHORTAGEの可算性選択に関与しているか。つまり、SHORTAGE of drinking waterのようにXが1項目の時とSHORTAGE of fuel and foodのようにXが複数項目の時とを比較した場合、後者の場合にSHORTAGEが複数形になる可能性が高くなるのかという疑問である。（ただし、ここで注意しなければならない点は、仮にXの項目数に関与していたとしても、それは絶対的な決定要因ではないということである。分析した限られたコーパスデータの中でさえ、Xが1項目の場合でもSHORTAGEが複数形になっていた例は存在したし、Xが複数項目の場合でも、SHORTAGEが単数形になった例もあった。）

(2) 「Xの不足のために／X不足が原因（理由）で」に相当する[because of SHORTAGE of X]および[due to SHORTAGE of X]のパターンで、SHORTAGEが複数形になることはないのか。この2つのパターンの頻度は高く、これら2構文だけで単数形データの約1.5割を占めた。し

かし、複数形のケースは分析したコーパスデータ中に1件も存在しなかった。(そもそも、[SHORTAGE of X]の構造では複数形が少なかったという点は忘れてはならないが。)

さらに、その後の考察の過程で、新たに次の2点の疑問が浮かんできた。

(3) 不足の事態の頻度数が関与しているのか。つまり、問題の不足の事態が2回以上ととらえられている場合にはSHORTAGEは複数形になり、そうでなければ単数形になるのか。

(4) 不足の事態の影響が及ぶ地域の数が関与しているのか。つまり、問題の不足の事態が2ヵ所以上で発生しているのとらえられている場合にはSHORTAGEは複数形になり、そうでなければ単数形になるのか。

## 2.2 [X SHORTAGE]の構造について

この[X SHORTAGE]の構造での可算性別の頻度分布は、上記の[SHORTAGE of X]の構造の分布とはかなり異なっていた。つまり、分析の対象とした総数337件の内、4割が単数形、5割強が複数形という内訳で、[SHORTAGE of X]の構造と比べて複数形の割合がかなり高いという結果であった。平たく言うと、[SHORTAGE of X]の構造では単数形を選択していればまず無難であったところが、[X SHORTAGE]の構造ではどちらが無難ということはいえず、その意味では単数形か複数形かの選択基準を知る必要性はより高いとも言える。しかし、この構造では、X部分がSHORTAGEを前置修飾する関係から必然的に短くなり、Xの項目数が複数になるということはあっても非常にまれなため、可算性の決定要因になるとは考えられず、他にも特に具体的な要因の候補は見当たらなかった。

だが、不足の事態の頻度数と地域の数については、上記の構造と同様に関与の可能性はあるため、検証してみたい。

## 2.3 [LACK of X]の構造について

前稿のコーパスデータによると、[LACK of X]の場合、総数577件中、不可算形は292件、単数形は285件、複数形は0件と、ほぼ半々の割合で不可算形と単数形が使われていた<sup>1</sup>。LACKの複数形の可能性は仮にあっても例外的と思われるので、以下のLACKの分析では扱わないことにする。

前稿では、LACKの文中での統語上の位置別に分析を行った。検討した位置は、主語、BE動詞の補語、前置詞の目的語、THERE構文の実質上の主語、動詞の目的語の5ヵ所であった。その中で、THERE構文の実質上の主語を除く、4つの位置では、以下の例のように、Xが同じ名詞(句)であっても、LACKが不可算形で使用される文も、単数形で使用される文もどちらも確認された。

<主語の場合>

- **Lack of funds** has nearly closed the museums and stripped security at sites.
- **A lack of funds** has hindered Ventura's agricultural land trust, McPhail said.

#### <BE動詞の補語>

- Research indicates that the chief reason people don't exercise is **lack of time**, she said.
- The biggest stumbling block was **a lack of time**."

#### <前置詞の目的語>

- Because of **lack of funds**, the schools have had to cut their music program
- How long will the county and cities have to postpone capital projects such as new streets, jails and courthouses because of **a lack of funds**?

#### <動詞の目的語>

- Others saw the investigators' decision not to arrest the two men immediately, citing **lack of evidence**, as proof that the authorities were paid to drop the matter.
- A judge dismissed a suit blaming the makers of her pocket phone, citing **a lack of scientific evidence**.

ここでの疑問は、はたして、これらの文における母国語話者の可算性の選択は絶対的な（つまり、人によって判断が異なる）ものなのか。そして、もし絶対的なものであるなら、母国語話者は不可算形と単数形の間、明確な意味の差を意識しているのか、という点である。

THERE構文の実質上の主語の位置においては、辞書データからも、コーパスデータからも単数形のLACKしか確認されなかった。そこで疑問は、[LACK of X]がTHERE構文の実質上の主語の位置で使われた場合には、必ず単数形になるのか、という点である。

さらに、その後の考察の過程で生じた新たな一つの疑問は、LACKが主語の場合に、文字通り文頭に現われるか否かがLACKの可算性選択に影響を与えているのかどうかである。つまり、Lack of ...で文が始まる場合と、UnfortunatelyやTwo years agoなどの副詞（句）に続いてLACKが主語の文がくる、もしくはLACKが主語の文がthat節の中に埋め込まれる形で現われる、等の理由でLACKが文頭にはこない場合とで、LACKの可算性選択に違いがでるのかどうかという疑問である。

### 3 調査の方法

母国語話者5名にSHORTAGEとLACKの可算性についてアンケート（Questionnaire）形式でデータを収集した。なお、アンケートの回答を分析する過程で多くの疑問が生じてきたため、それらの疑問の一部について、アンケート回答者の一部に追加質問（Follow-up Questions）を行い、補足データとした。以下に、主要データとなるアンケートについて説明を行う。追加質問については、セクション4以降の結果と分析の部分で説明する。

### 3.1 アンケート

アンケートはPart 1, Part 2, Part 3の3部から構成され、Part 1は [X SHORTAGE] の構造を、Part 2は [SHORTAGE of X] の構造を、そして、Part 3は [LACK of X] の構造をそれぞれ扱った<sup>2</sup>。

各部のテスト項目はPart 1が35問、Part 2が39問、Part 3が40問であった。以下、Part 1の最初のテスト項目を例に被験者の作業を説明する。

Part 1の最初のテスト項目：

Because of \_\_\_\_\_ in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

- [A] water shortage < >
- [B] a water shortage < >
- [C] water shortages < >

テスト項目は空白付きの不完全な英文（「状況文」）に続き、その空白部分を補う表現として[A], [B], [C]の3つの表現が挙げられている。[A]はSHORTAGEの不可算形を、[B]はSHORTAGEの単数形を、そして、[C]は複数形をそれぞれ含んでいる。被験者には、次の判断基準に基づいて、これら3つの表現のそれぞれについて、評価を下し、“1”、“2”、“3”のどれかの評価値を各表現の後の山形括弧< >の中に記入するように依頼した。

#### RATING CRITERIA

- 1 = This fits the blank best. My first choice. Sounds most natural.
- 2 = This may fit the blank, but not my first choice. Doesn't sound as natural as 1.
- 3 = This doesn't seem to fit the blank. Sounds odd.

被験者は一つのテスト項目の3つの表現（[A], [B], [C]）に対して1, 2, 3の3つの異なる評価値を全て使う必要はなく、同じ評価値を2つ以上の表現に対して使用して良いこととした。例えば、2つの表現がどちらも空白を補う表現として甲乙つけ難いほど適切であると判断した場合には、そのどちらにも“1”の評価値を入れるように指示した。なお、そのように、2つ以上の表現が等しく適切であると判断した場合には、その表現の間で意味の違いがないか、あるならどのような違いか、について、できる限り説明をして欲しいと依頼した。

なお、[LACK of X]を扱ったPart 3では、LACKの複数形は考慮外としたため、表現としては、[A]（不可算形）と[B]（単数形）の2つの表現のみとした。

アンケートのテスト項目は、上記の疑問点を検証するために、問題の名詞を様々な条件下で使用したものである。ある要因の影響を検証するために、ある一部分のみを変えただけの、酷似した文を多数含む結果となり、被験者が直前のテスト項目で行なった自分の判断の影響を強く受け

ることが懸念されたため、その影響を少しでも和らげるために、酷似しているテスト項目はなるべく離して提示するように、各Partごとに恣意的な順序に並び変えた。関連のテスト項目の詳細については、下記（セクション4）の結果の報告を行なう所で行なう。なお、アンケートの指示と、全テスト項目と提示順序については、付録を参照されたい。（ただし、紙面の関係上、簡略化した形で提示してある。）

### 3.2 被験者とデータ数

被験者は、アメリカ英語の母国語話者（大学生もしくは大学卒業者）で、Part 1, Part 2, Part 3のそれぞれにつき、計5名の判断データを得た。（4名がPart 1, Part 2, Part 3の全てを、別の1名がPart 1とPart 3を、さらに別の1名がPart 2のみを回答した。）

### 3.3 適切さの基準

ある表現を適切と判断するためには、平均評価値が1.0に近ければ近いほど、適切さの信頼性は高まる。しかし、仮に、基準を最も高く、平均で1.0とすると、適切と判断される表現が不在のテスト項目がでてくる可能性も高くなる。実際、本アンケートでは、平均1.0の評価を得た表現をもつテスト項目は全114テスト項目中、42項目しかなく、全体の約1/3であった。これでは、データ分析の対象が著しく狭くなるため、基準を若干緩める必要がでてきたが、どこまで緩めるかという判断はむずかしい。そこで、この研究では一応の目安として、平均値で1.4以上の評価を得た表現を適切な可算性とみなすこととした。その根拠は絶対的なものではないが、以下のような判断による。つまり、被験者の評価の組み合わせの可能性を考えた場合、平均で1.4になる組み合わせは、5人の被験者の内、3人が1、2人が2の評価をした場合（1, 1, 1, 2, 2）と、4人が1、1人が3と評価した場合（1, 1, 1, 1, 3）の2通りに限定され、いずれの場合も、被験者の過半数が1と判断しており、かつ、3の評価を下す被験者はいても1人、という状況になる。これを仮に1.6をボーダーラインに設定すると、被験者の過半数が1と判断するという条件は必ずしも満たされなくなり、被験者全体の判断として適切と言い切るのには抵抗を感じたからである。

## 4 アンケートの結果と分析

### 4.1 Part 1 ([X SHORTAGE])

Part 1の全テスト項目と結果（被験者の平均値）はAppendix 1に示す。以下においては、議論に関係のあるテスト項目の結果のみを提示する。

#### 4.1.1 不足の事態の「頻度数」と「地域の数」の影響

アンケートには不足の事態の頻度数の影響をみれると期待される6セットのテスト項目を入れた。まず、1セット目は同一の状況文を利用したB103, B123, B128, B116の4項目である。以下にそれらのテスト項目と結果を示すが、表示の仕方について次の通りである。

- それぞれの表現 ([A], [B], [C]) の末尾の山形括弧 (< >) 内の数値は被験者 5 名の評価値の平均値を示し、適切な目安とした 1.0 から 1.4 の間の数値は太字で示す。
- テスト項目間の相違点をわかりやすくするために、異なる箇所を太字で示す。
- 状況文が同じ場合は、最初のみ提示して、以下は省略する。

The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. \_\_\_\_\_ as a result.

- B103. [A] There is water shortage < 3.0 >  
 [B] There is a water shortage < 1.2 >  
 [C] There are water shortages < 2.0 >
- B123. [A] There is **two-year** water shortage < 3.0 >  
 [B] There is a **two-year** water shortage < 1.0 >  
 [C] There are **two-year** water shortages < 2.4 >
- B128. [A] There is **intermittent** water shortage < 2.4 >  
 [B] There is an **intermittent** water shortage < 2.8 >  
 [C] There are **intermittent** water shortages < 1.2 >
- B116. [A] There is **chronic** water shortage < 2.2 >  
 [B] There is a **chronic** water shortage < 1.6 >  
 [C] There are **chronic** water shortages < 1.6 >

このセットの 4 つのテスト項目は状況文は同じだが、WATER SHORTAGE に形容詞が使われていない B103 に対し、B123 では two-year が、B128 では intermittent が、そして B116 では chronic がそれぞれ追加されているという点で異なっている。アンケート作成過程における複数の母国語話者との議論を基に、筆者はこれらの形容詞が、水不足の事態について、異なる頻度数を連想させると仮定した。つまり、two-year 付きの文から被験者が連想する水不足の状況は、2 年間というひと続きの事態 (頻度 = 単数) であり、逆に intermittent 付きの文から被験者が連想する水不足の状況は、断続的に何回か生じた事態 (頻度 = 複数) である、と仮定した。言うまでもなく、2 年間におよぶ断続的水不足も考えられるわけで、two-year が付いたから頻度が単数で、intermittent が付いたから、頻度が複数といった単純で絶対的なものではないが、他に特別な状況説明がない場合の一般的な連想としては two-year は単数頻度を、intermittent は複数頻度をそれぞれ連想させるとの判断にたった。これはあくまでも本研究での仮定的前提でしかないが、以下の分析ではその仮定に基づいて議論を進めることにする。そして、ここでの目的は、この水不足の事態の頻度数 (を表わすと思われる形容詞) の違いが、WATER SHORTAGE の可算性の選択に影響を与えるのかをみることであった。なお、B116 を入れた理由は chronic という形容詞については、予備調査の段階で母国語話者の間で、単数とみる人も、複数とみる人もいたために、どのような結果になるか関心があったためである。

結果を見ると、まず、形容詞のついていないB103では適切な基準を満たしているのは単数形(1.2)のみである。単数形に続いて低い数値は2.0の複数形であったが、単数形との差はかなりはっきりしていると言えよう。次に、two-year付きのB123では、単数形が1.0、複数形は2.4と、その差はさらに明確になっている。しかし、intermittent付きのB128では、単数形と複数形の関係は逆転し、複数形が1.2に対し、単数形が2.8となっている。これらの結果は、もしtwo-yearが1回の水不足を、intermittentが複数回の水不足を、それぞれ連想させるとする仮定が成立するとすれば、水不足の事態の頻度数の単数性・複数性がSHORTAGEの可算性の選択に影響を与えていることになる。なお、chronic付きのB116では、単数形と複数形が1.6で並び、適切な表現は不在という結果になった。各被験者の評価をみると予備調査の段階と同様にかかなりの個人差があったことがわかる。(特に単数形の方の評価は、3人が“1”，1人が“2”，もう1人が“3”と、すべての評価値が使われていた。)したがって、B116の結果からはchronicという形容詞の場合は、頻度数について一概に単数、複数のどちらか一方を連想させるということではできなさそうである。

以上の結果から、形容詞とSHORTAGEの可算性について次のようなことが言えるかもしれない。つまり、「2年に及ぶ水不足」と言った場合に、実際にはその2年間の間に、何回か水不足が解消された時期があったにしても、全体としてその2年間を一連の水不足の事態とみなし、ひと続きの連続性・単数性が全面に出て、その期間中の水不足の度合の違いなどはその陰に隠れてしまい、結果として、SHORTAGEは単数形が適切となる。逆に、あえて「断続的な水不足」と言った場合には、実際には断続的に2年、3年と水不足が続いたにしても、水不足がやっと終わったと思ったらまたすぐ水不足になったというように、新たな水不足が次から次へとやってきたという印象から連想される複数性が全面に出てきて、ひと続きの連続性はその陰に隠れ、結果的に複数形が適切となる。しかし、「慢性的な水不足」と言った場合には、ずっと続いているという連続性・単数性も、繰り返し何度もという複数性も、どちらの解釈もほぼ等しく可能になるとため、結果的に、人によって、または、その時その時の状況の読みによって、単数形が適切となるときも複数形が適切となるときも出てくる。

次のセットはSHORTAGEが前置詞句(BECAUSE OF)の目的語となっているB101, B129, B117, B110である。

Because of \_\_\_\_\_ in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

- B101. [A] water shortage < 3.0 >  
 [B] a water shortage < 1.6 >  
 [C] water shortages < 1.4 >
- B129. [A] **unprecedented** water shortage < 2.6 >  
 [B] an **unprecedented** water shortage < 1.0 >  
 [C] **unprecedented** water shortages < 1.8 >

- B117. [A] **intermittent water shortage** < 2.4 >  
[B] **an intermittent water shortage** < 2.4 >  
[C] **intermittent water shortages** < 1.4 >

- B110. [A] **chronic water shortage** < 2.0 >  
[B] **a chronic water shortage** < 2.4 >  
[C] **chronic water shortages** < 1.6 >

このセットでは、水不足をひと続きの事態（頻度＝単数）とみなすであろうと思われる形容詞としてtwo-yearではなくunprecedentedを使った点が上のセットと異なるが、他の形容詞は同じである。まず、形容詞なしのB101で適切といえるものは複数形（1.4）のみで、単数形（1.6）はわずかながら適切な基準を満たさなかった。しかし、両者の値は接近しており、明確な判断はしにくい。unprecedented付きのB129では単数形が1.0で唯一の適切な形であり、複数形の1.8との差はかなり開いている。これに対して、intermittent付きのB117では、単数形は不可算形と同じ数値（2.4）で不適切となり、逆に複数形が1.4で適切となっており、従って、このセットの結果からも、unprecedented（頻度＝単数）とintermittent（頻度＝複数）の影響はうかがえ、不足の事態の頻度の捕え方がWATER SHORTAGEの可算性選択に関与している可能性を示していると言える。なお、chronic付きのB110では上のB116と同様に、適切な基準を満たす表現は不在であった。

不足の事態の頻度数をみるテスト項目として取り入れた3セットめは、頻度についての提示の仕方を状況文の中でより明確にした次の3項目である。

B131. (Assume that the town has been short of water **for the past two years.**) \_\_\_\_\_ in the town.

- [A] There has been water shortage < 2.8 >  
[B] There has been a water shortage < 1.4 >  
[C] There have been water shortages < 2.0 >

B130. (Assume that the town has been **intermittently** short of water.) \_\_\_\_\_ in the town.

- [A] There has been water shortage < 2.6 >  
[B] There has been a water shortage < 2.2 >  
[C] There have been water shortages < 1.0 >

B132. (Assume that the town has been **chronically** short of water.) \_\_\_\_\_ in the town.

- [A] There has been water shortage < 2.2 >  
[B] There has been a water shortage < 1.0 >  
[C] There have been water shortages < 2.0 >

このセットは上の2セットとは異なり、状況文の中に“for the past two years”, “intermittently”, “chronically”という副詞(句)がそれぞれ挿入されている。これらの副詞(句)に対する不足の事態の頻度についての仮定は、上で述べた形容詞(two-year/unprecedented, intermittent, chronic)に準ずる。結果は、“for the past two years”付きのB131では単数形(1.4)が、intermittently付きのB130では複数形(1.0)がそれぞれ適切と判断された。chronically付きのB132では、上の2セットの場合では適切と判断された形はなかったが、ここでは単数形(1.0)が明らかに適切となった。

以上の3セットの結果はいずれも、形容詞や副詞によって連想されるであろう異なった不足の頻度数がSHORTAGEの可算性選択に関与している一要因である可能性を示唆しているように思われる。

次に、不足の事態の頻度数の影響と同時に、不足の事態の地域の数の影響も検証するために、上でみた最後の2セットに対応する形で、不足の事態の地域の数に関係する部分のみを変えた状況文を用意した。まず、上述のB101との比較で、次の2つの項目の結果をみってみる。

B104. Because of \_\_\_\_\_ in California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

- [A] water shortage < 3.0 >
- [B] a water shortage < 1.2 >
- [C] water shortages < 1.8 >

B113. Because of \_\_\_\_\_ up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

- [A] water shortage < 2.6 >
- [B] a water shortage < 1.8 >
- [C] water shortages < 1.2 >

B101, B104, B113の3項目の違いは不足の事態の地域が、それぞれ“in San Francisco”, “in California”, “up and down the coast of California”と変えてあるだけである。ここでの筆者の意図は、同じCaliforniaという地域に言及していても、一方を“up and down the coast of California”とすることによりCaliforniaの北でも南でもいたるところで水不足の事態が発生していることをより明確な形で提示できるのではないかということであった。もちろん、“in California”だけでも、Californiaの方々で水不足が起きているという解釈を除外するものでは決していないが、上の頻度の議論と同じ理由で、“up and down the coast of California”としてあれば一般的には複数の地域を連想する可能性が高いとの仮定に基づいて、以下の議論を進める。

B104とB113の結果をみると、その差はかなりはっきり出ているといえよう。つまり、“in California”では単数形が、“up and down the coast of California”では複数形がそれぞれ適切となった。このことからだけ判断すると、不足の事態の地域が複数であることを明示したときの方

が、SHORTAGEの可算性も複数形になる可能性が高いと言えそうである。しかし、上述のB101では、Californiaより狭い地域の“in San Francisco”であるにもかかわらず、複数形が適切となっている点はこの理屈に反するもので、筆者には不可解な点として残る。

次に、上述のB129, B117, B110に対応する状況文としてB107, B221, B225がある。両者の違いは前者が“in San Francisco”であったのに対し、後者は“up and down the coast of California”であったという点である。両者とも、不足の事態の頻度数を表わすなんらかの形容詞がついている点では同じである。B129, B117, B110の結果はすでに上で提示してあるが、比較を容易にするために、あえて以下に再掲する。左側が地域が単数の系列、右側が地域が複数の系列である。

Because of _____ in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	Because of _____ up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.
B129. [A] <b>unprecedented</b> water shortage < 2.6 > [B] an <b>unprecedented</b> water shortage < 1.0 > [C] <b>unprecedented</b> water shortages < 1.8 >	B107. [A] <b>unprecedented</b> water shortage < 3.0 > [B] an <b>unprecedented</b> water shortage < 1.6 > [C] <b>unprecedented</b> water shortages < 1.2 >
B117. [A] <b>intermittent</b> water shortage < 2.4 > [B] an <b>intermittent</b> water shortage < 2.4 > [C] <b>intermittent</b> water shortages < 1.4 >	B121 [A] <b>intermittent</b> water shortage < 2.2 > [B] an <b>intermittent</b> water shortage < 2.2 > [C] <b>intermittent</b> water shortages < 1.6 >
B110. [A] <b>chronic</b> water shortage < 2.0 > [B] a <b>chronic</b> water shortage < 2.4 > [C] <b>chronic</b> water shortages < 1.6 >	B125. [A] <b>chronic</b> water shortage < 2.4 > [B] a <b>chronic</b> water shortage < 1.8 > [C] <b>chronic</b> water shortages < 1.0 >

まずunprecedented付きのB129とB107のペアを比較すると、単数形と複数形の数値が逆転している。つまり、地域が単数のB129では、単数形が適切であったのが、地域が複数のB107では、複数形が適切となっている。

次にintermittent付きのB117とB121のペアをみると、まず、B117では地域が単数にもかかわらず、複数形が適切と判断されている。一方、地域が複数のB121になると、適切な基準を満たす形は不在となった。しかし、その中では、複数形の容認度が1.6で一番高いことに注目すれば、このペアでは、地域の単数・複数にかかわらず、複数形の容認度が一番高いということになる。

最後にchronic付きのB110とB125のペアの結果をみると、地域が単数のB110では適切な表現が不在であったのが、地域が複数のB125では、複数形が1.0と明らかに適切な表現と判断された。

以上の結果を「頻度」と「地域」という2つの要因との関係で簡略化して示すと次のようになる。(chronicについては頻度の点で、単数とみるか複数とみるかは不明なため、この表には入れていない。)

		地 域	
		[+複数性] (in San Francisco)	[+複数性] (up and dow the coast of California)
頻 度	[+単数性] (unprecedented)	B129 [B] 単数形	B107 [C] 複数形
	[+複数性] (intermittent)	B117 [C] 複数形	B. 121 ([C] 複数形?)

この結果から、少なくとも「頻度」と「地域」のどちらか一方の要因に複数性があるときには、問題のSHORTAGEは単数形は不適當になるという、とりあえずの仮説を立てることができる。

次に上述のB131, B130, B132に対応するB134 B133 B135のセットをみる。前者のセットでは地域がthe townと単数に、後者のセットでは地域が複数のmany cities and towns up and down the coast of Californiaになっている点が異なっている。

B131. (Assume that **the town** has been short of water for the past two years.) \_\_\_\_\_ in the town.

- [A] There has been water shortage < 2.8 >
- [B] There has been a water shortage < 1.4 >
- [C] There have been water shortages < 2.0 >

B130. (Assume that **the town** has been intermittently short of water.) \_\_\_\_\_ in the town.

- [A] There has been water shortage < 2.6 >
- [B] There has been a water shortage < 2.2 >
- [C] There have been water shortages < 1.0 >

B132. (Assume that **the town** has been chronically short of water.) \_\_\_\_\_ in the town.

- [A] There has been water shortage < 2.2 >
- [B] There has been a water shortage < 1.0 >
- [C] There have been water shortages < 2.0 >

B134. (Assume that **many cities and towns up and down the coast of California** have been short of water for the past two years.) \_\_\_\_\_ up and down the coast of California.

- [A] There has been water shortage < 2.6 >
- [B] There has been a water shortage < 1.0 >
- [C] There have been water shortages < 1.6 >

B133. (Assume that **many cities and towns up and down the coast of California** have been intermittently short of water.) \_\_\_\_\_ in the town<sup>3</sup>.

- [A] There has been water shortage < 2.6 >
- [B] There has been a water shortage < 2.6 >
- [C] There have been water shortages < 1.0 >

B135. (Assume that **many cities and towns up and down the coast of California** have been chronically short of water.) \_\_\_\_\_ up and down the coast of California.

- [A] There has been water shortage < 2.6 >
- [B] There has been a water shortage < 1.6 >
- [C] There have been water shortages < 1.4 >

まずfor the past two yearsを含むB131とB134のペアを見ると、地域の単・複にかかわらず、SHORTAGEの可算性は単数形が適切と判断された。

次にintermittentlyを含むB130とB133のペアでは、逆に複数形が地域の単・複にかかわらず、

WATER SHORTAGEの可算性として適切と判断された。結果を上にならって表にまとめると以下のようになる。

		地 域	
		[+複数性] (the town)	[+複数性] (many cities and towns up and down coast of California)
頻 度	[+単数性] (for the past two years)	B131 [B] 単数形	B134 [B] 複数形
	[+複数性] (intermittently)	B130 [C] 複数形	B.133 [C] 複数形

この結果からすると、「頻度」と「地域」の関係をみた場合、「頻度」の要因の方が「地域」の要因より強くSHORTAGEの可算性選択に作用しているように思われる。しかし、この結果は上でみたセット（B129, B117, B107, B121）の結果から導いた仮説に反している部分がある。上では、少なくとも「頻度」と「地域」のどちらか一方の要因に複数性があるときには、問題のSHORTAGEは単数形は不適切になるという仮説を立てたわけがた、それに基づけば、「地域」が複数のB134では単数形は不適切となるはずであるが、実際には適切となっている（しかも1.0という数値で）。これはなぜだろうか。推測の域を超えるものではないが、このセットは上のセットと違い、状況文がTHERE構文であることに注目して、あえて仮説を立てるとすれば、「THERE構文は単数形と相性が良く（“There is a ... ”のつながりで言いやすい）、そのため、「頻度」「地域」の両方で複数性が明示されない限り、単数形が好まれる傾向がある」ということが考えられる。

なお、B132とB135のペアはchronicallyを含むが、地域が単数のB132ではSHORTAGEの可算性は単数形が適切と判断されたが、地域が複数のB135では複数形の方が適切と判断された。B135の場合、数値的に複数形が1.4、単数形が1.6と接近しているため、その差にどの程度の意味があるものかは不明であるが、B132からB135に目を移すと、単数形については不適切な方向へ（1.0 → 1.6）、複数形については適切な方向へ（2.0 → 1.4）それぞれ変化しているという結果から、少なくともこのペアにおいては、SHORTAGEの可算性選択はchronicallyよりも地域の複数性の影響をより強く受けたと解釈できるかもしれない。

以上、不足の事態の頻度数と地域の数という2つの要因が、SHORTAGEの可算性を選択する際に関与している可能性についてみてきた。

「頻度」の点で単数性を示すと思われる、two-yearやunprecedentedや、for the two yearsの修飾語句が明示されている文では、問題のSHORTAGEは単数形が適切となり、逆に、「頻度」の点で複数性を示すと思われる、intermittentやintermittentlyの修飾語句が明示されている文では、

複数形が適切になった。

一方、「地域」の点で単数性を示すと思われるin California, in San Francisco, (in) the townの修飾語句が明示されている文では、問題のSHORTAGEは単数形が適切となり、逆に、「地域」の点で複数性を示すと思われる、(many cities and towns) up and down the coast of Californiaの修飾語句が明示されている文では、複数形が適切に（もしくは最も適切な基準値に近く）なった。

これらの結果から、不足の事態の「頻度」および「地域」という2つの要因がSHORTAGEの可算性を選択する上で関与しているということがいえそうである。

#### 4.1.2. 不可算形が適切と判断されたテスト項目

Part 1の結果をみると、SHORTAGEの不可算形（[A]）が適切と判断されたテスト項目が5項目（B124, B108, B111, B112, B118）見つかった。このことは、前稿のコーパスデータの結果で不可算形は極端に少なかったことを考えると、筆者には意外な結果であった。該当のテスト項目と結果は次の通りである。

B124. \_\_\_\_\_ a serious problem in Tokyo.

- [A] Water shortage is < 1.0 >
- [B] A water shortage is < 2.4 >
- [C] Water shortages are < 1.6 >

B108. \_\_\_\_\_ a serious problem in many parts of the world.

- [A] Water shortage is < 1.4 >
- [B] A water shortage is < 3.0 >
- [C] Water shortages are < 1.6 >

B111. If the population predictions come true, \_\_\_\_\_ going to become a part of life in California.

- [A] water shortage is < 1.4 >
- [B] a water shortage is < 3.0 >
- [C] water shortages are < 1.0 >

B112. The most serious problem facing the city is \_\_\_\_\_.

- [A] water shortage < 1.0 >
- [B] a water shortage < 2.8 >
- [C] water shortages < 2.0 >

B118. Southern California is no stranger to \_\_\_\_\_ in the long, hot months of summer.

- [A] water shortage < 1.2 >
- [B] a water shortage < 3.0 >
- [C] water shortages < 1.6 >

この5項目を概観して、まず気付くことは、最初の3項目（B124, B108, B111）はいずれも

SHORTAGEがBE動詞の主語の位置にきていることである。Part 1にはBE動詞の主語にSHORTAGEがくる項目は全部で4項目入れられていた(残る1項目はB102)。4項目中の3項目といっても、B124とB108はほとんど同じ状況文であることや、そもそも3つ4つの例からでは一般化は不可能であるが、今後検証すべきひとつの仮説として、「SHORTAGEがBE動詞の主語の場合はSHORTAGEの不可算形の容認度が高まる」ということが考えられるかもしれない。しかし、仮にこの仮説に一理あるとすると、ではなぜ、B102では不可算形は適切にならなかったのか、という疑問が残る。B102の結果は次の通りである。

B102. \_\_\_\_\_ a source of annoyance for many people.

- [A] Water shortage is < 2.4 >
- [B] A water shortage is < 2.2 >
- [C] Water shortages are < 1.2 >

B102において複数形が適切と判断されている理由としては、SHORTAGEが基本的に可算(つまり単数形か複数形の選択)であり、この状況文では、どこかで起きている個別の1つの水不足の事態を指しているわけではないため、単数形を避け、その結果、残る複数形が選ばれるということが考えられる。しかし、SHORTAGEがBE動詞の主語の位置を占める他の3項目では、不可算形は(必ずしも最適と判断されたわけではないにしても)適切な基準を満たしているのに、このB102だけでは、なぜか2.4と適切な基準を大きく下回り、明らかに不適切との結果となっているのはなぜか。現時点で筆者には疑問として残る。

次に、B112とついてであるが、今度はSHORTAGEはBE動詞の補語に位置にきている。Part 1にはSHORTAGEがBE動詞の補語になっている例は他に2項目(B109, B122)存在したが、どちらも、適切な表現が不在という結果だった。特に興味深いのは問題のB102に酷似するB122である。

B122. The most serious problem the city faces is \_\_\_\_\_.

- [A] water shortage < 1.6 >
- [B] a water shortage < 2.2 >
- [C] water shortages < 1.8 >

B112とB122の違いは、'The most serious problem'を前者は現在分詞(facing Japan)で修飾しているのに対し、後者は関係代名詞を省略した形で修飾しているという点のみである。筆者には両方の状況文の基本的な意味は同じように思われるが、結果は数値が示すように前者の場合、不可算形を被験者全員が1と判断しているのに対し、後者の場合は、容認度は適切な基準を下回る平均1.6にまで下がっている。はたしてこの差は意味のある差なのか。もし、意味があるものならば、一体何がこの差を生みだしたのか。興味深い疑問であるが、現時点で筆者にはわからない。

最後にB118について。この場合、SHORTAGEは [no stranger to \_\_\_\_] の構造で用いられ、前置詞toの目的語になっている。単なる推測にすぎないが、[no stranger to \_\_\_\_] の構造が不可算形を要求する構造である可能性があるかもしれないので、今後検証してみる必要がある。なお、前置詞の目的語という観点からPart 1の結果をみると、B119では [Due to \_\_\_\_] の構文で、同じくtoの目的語になっているが、不可算形は不適切の判断を受けている。また、[because of \_\_\_\_] の構文で、ofの目的語になっている項目が9項目 (B101, B113, B104, B117, B129, B110, B121, B107, B125) あったが、いずれも不可算形は不適切であった。(ただし、この9項目の状況文は酷似しているため、9項目という数にはあまり意味はないと思われる。)

#### 4.1.3. 2つの表現が適切と判断されたテスト項目

Part 1には2つの表現が適切と判断されたテスト項目が3項目 (B126, B127, B 111) あった。(3つ全ての表現が適切という項目はなかった。)

B126. Two years ago \_\_\_\_\_ all across Japan.

- [A] there was water shortage < 2.8 >
- [B] there was a water shortage < 1.4 >
- [C] there were water shortages < 1.2 >

B127. Scientists predict \_\_\_\_\_ in Japan in the next decade or two.

- [A] water shortage < 2.2 >
- [B] a water shortage < 1.4 >
- [C] water shortages < 1.4 >

B111. If the population predictions come true, \_\_\_\_\_ going to become a part of life in California.

- [A] water shortage is < 1.4 >
- [B] a water shortage is < 3.0 >
- [C] water shortages are < 1.0 >

B126とB127では単数形と複数形の2つの表現が適切と判断されたが、B111では単数形は全員一致で3の評価となり、代って、不可算形と複数形の2つの表現が適切となっている。同一の状況文で2つの表現が適切となると、当然、両者の違いは何かという疑問が生ずる。そこで、アンケートを回答した5人の被験者のうちの4名に、Follow-up Questionsで、これら2つの表現の違いについて説明を求めた。

まず、B126について、得られた回答を表にまとめると次のようになる。

被験者#	[B] 単数形	[C] 複数形
	Two years ago there was a <u>water shortage</u> all across Japan. < 1.4 >	Two years ago there were <u>water shortages</u> all across Japan. < 1.2 >
#1	<2>* — implies that this occurred only once at one specific time	<1> — implies that there were shortages in multiple places at different times
#2	<1> — implies a large-scale national crisis	<1> — could be interpreted as referring to isolated incidents
#3	<1> — implies that the entire country of Japan had a water shortage that was consistent throughout the country	<2> — means that there are a few or many isolated areas in which there is a water shortage
#4	<2> — one water shortage afflicting the entire country	<1> — numerous water shortages, a general problem in water supply to the entire country

(\*各セル左上の< >内の数字はアンケートにおける被験者個人の評価値を示す。)

これらのコメントから、単数形を使用した場合には、水不足という事態が発生した回数 (time) が1回、地域 (place) の数が1ヵ所という基本的な意味に加えて、「広範囲 (日本全土) にわたる」という意味で、問題の水不足の影響が及ぶ範囲の広さや一体感/関連性、およびその中の深刻さの均一性とうものを連想させる場合もあるように思われる。一方、複数形を使用した場合には、頻度が複数、地域の数が複数ヵ所であることに加えて、個々の不足の事態のお互いの孤立性を示唆する場合もあるように思われる。B126ではSHORTAGEがTHERE構文の主語の位置にきていることから、不足の事態の存在を示すわけだが、そこでSHORTAGEの単数形と複数形を使い分けることによって、不足の事態の回数、地域数、広範囲性、関連性といった点について情報を提供していると考えらる。

次に、単数形と複数形が適切となったもうひとつの項目のB127をみると、ここではSHORTAGEは一般動詞 (predict) の直接目的語になっている。違いについての被験者のコメントは、ほとんどが「上のB126に同じ」式の回答であったが、被験者#2は“Again [B] = crisis, [C] seems less serious”と述べている。ここで、“Again”といているのは、B126で被験者#2が単数形は“a large-scale national crisis”を、複数形は“isolated incidents”を連想するとしたコメントを受けてのことと思われるが、B127で、単数形・複数形の違いを水不足の深刻さの違いに結びつけている点が興味深い。

最後に、B111ではSHORTAGEはBE動詞の主語となっている。BE動詞の主語の場合には不可算形の容認度が上がる可能性についてはすでに上で述べたが、B111では、不可算形は確かに適切な基準を超えているが、複数形の方が容認度は高く、被験者全員一致で複数形が適切と判断している。したがって、ここでは、不可算形も可能であるといった方が正確な表現かもしれない。不可算形と複数形の違いについては、被験者#1は “[A] sounds more forced than [C]” とコメントしている。被験者#2は「両者の意味の違いはない」と述べ、被験者#3は「B126に同じ」としている。被験者#4は不可算形について、“generally, the ‘problem’ of water shortage will be part of

life”と表現し、一方、複数形については、“water shortages will become a part of life”と説明している。これらのコメントから推測するに、不可算形の方は「(個々の) 水不足の事態」というよりも「水不足問題」というくらいの意味として適切と判断されている可能性もあるかもしれないと思われる。「水不足問題」という名前がつくくらいであれば、その深刻さというものはある程度社会で認識されていると予想され、被験者#1のいう“more forced”というニュアンスとも通づる可能性もあると思われる。

以上、SHORTAGEが [SHORTAGE of X] の構造で使われる場合について考えられる関連要因、不可算形が適切な場合、ニュアンスの違い、について考察した。次に、SHORTAGEのもう一つの構造、[SHORTAGE of X] の場合についてみる。

#### 4.2 Part 2 ([SHORTAGE of X])

Part 2の全テスト項目と結果（被験者の平均値）はAppendix 2に示す。以下においては、議論に関係のあるテスト項目の結果のみを提示する。

[SHORTAGE of X] の構造では、(1) Xの項目数の影響、(2) [because of/due to SHORTAGE of X] のパターンでのSHORTAGEの複数形の可能性、(3) 不足の事態の「頻度」、(4) 不足の事態の「地域」、の4点がポイントであったが、以下では、上述の [X SHORTAGE] の構造でみた、不足の事態の「頻度」と「地域」の数の影響についてまずみることにする。

##### 4.2.1 不足の事態の「頻度数」と「地域の数」の影響

アンケートのPart 2には「頻度数」の影響をみれると期待される4セットのテスト項目を入れた。まず、1セット目 (B201, B224, B215) の結果は次のとおりである。

The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. \_\_\_\_\_ as a result.

B201. [A] There is shortage of drinking water < 3.0 >

[B] There is a shortage of drinking water < 1.0 >

[C] There are shortages of drinking water < 2.4 >

B224. [A] There is **two-year** shortage of drinking water < 3.0 >

[B] There is a **two-year** shortage of drinking water < 1.0 >

[C] There are **two-year** shortages of drinking water < 2.4 >

B215. [A] There is **intermittent** shortage of drinking water < 2.8 >

[B] There is an **intermittent** shortage of drinking water < 2.2 >

[C] There are **intermittent** shortages of drinking water < 1.2 >

B201では頻度を明示する形容詞がないが、B224ではひと続きの不足（頻度＝単数）を連想される

と思われるtwo-yearが、B215では断続的な何回かの不足（頻度＝複数）を連想させるとと思われるintermittentが追加されている。結果は、頻度についての明示がないB201とtwo-year（[+単数性]）付きのB224では単数形が適切となり、intermittent（[+複数性]）付きのB215では複数が適切となった。

次のセット（B207, B233, B219）は、状況文も、頻度を表わす形容詞も、上のセットと同じであるが、[SHORTAGE of X] のXの項目数が2つ（‘power and water’）になっている。

The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. \_\_\_\_\_ as a result.

B207. [A] There is shortage of power and water < 3.0 >

[B] There is a shortage of power and water < 1.0 >

[C] There are shortages of power and water < 1.6 >

B233. [A] There is **two-year** shortage of power and water < 3.0 >

[B] There is a **two-year** shortage of power and water < 1.2 >

[C] There are **two-year** shortages of power and water < 2.6 >

B219. [A] There is **intermittent** shortage of power and water < 3.0 >

[B] There is an **intermittent** shortage of power and water < 2.2 >

[C] There are **intermittent** shortages of power and water < 1.2 >

Xが2項目のこのセットでも、上のセットと同様の結果が観察された。つまり、形容詞なしのB207とtwo-year付きのB233では単数形が、intermittent付きのB215では複数が、それぞれ適切と判断された。なお、Xの項目数の影響については後述（4.2.2）する。

次のセットはB202, B230, B239の3項目である。

Because of \_\_\_\_\_ in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

B202. [A] shortage of drinking water < 3.0 >

[B] a shortage of drinking water < 1.0 >

[C] shortages of drinking water < 1.8 >

B230. [A] **unprecedented** shortage of drinking water < 3.0 >

[B] an **unprecedented** shortage of drinking water < 1.0 >

[C] **unprecedented** shortages of drinking water < 2.0 >

B239. [A] **intermittent** shortage of drinking water < 3.0 >

[B] an **intermittent** shortage of drinking water < 2.4 >

[C] **intermittent** shortages of drinking water < 1.2 >

上でみた2つのセットでは問題のSHORTAGEがTHERE構文の真の主語の位置にあったが、こ

のセットでは前置詞句 (BECAUSE OF) の目的語となっている。なお、単数頻度を連想させる形容詞としてはtwo-yearの代りにunprecedentedが用いられている。結果は、上の2セットと同じパターンを示した。つまり、SHORTAGEの適切な可算性と判断されたのは、形容詞なしのB202とunprecedented付きのB233では単数形であったのが、intermittent付きのB215では複数形となった。

頻度の影響をみれる最後のセットは、上の3セット目と基本的な状況分は同じが、不足発生地域が複数 (up and down the coast of California) となっている点で異なっている。(ただし、B202に相当する項目はない。)

Because of \_\_\_\_\_ up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

- B234. [A] **unprecedented** shortage of DW\* < 2.6 >  
[B] an **unprecedented** shortage of DW < 1.0 >  
[C] **unprecedented** shortages of DW < 1.4 >  
(\* DW= drinking water)

- B222. [A] **intermittent** shortage of D.W. < 3.0 >  
[B] an **intermittent** shortage of D.W. < 2.6 >  
[C] **intermittent** shortages of D.W. < 1.0 >

単数頻度のunprecedented付きのB234では単数形と複数形の2つの表現が適切となったが、数値的には単数形が1.0、複数形が1.4という差があることから、単数が最も適当であり、複数形でもよいという表現が適当かもしれない。一方、複数頻度のintermittent付きのB222では、複数形が適切となっている。したがって、このセットの結果からも頻度の影響はうかがわれると言える。

以上の4セットをみる限り、多少の差はあるにせよ、概ね、intermittentという複数頻度を連想させる形容詞がついた場合にはSHORTAGEは複数形になり、それ以外、つまり、頻度を表わす形容詞が不在の場合、および単数頻度を連想させるtwo-yearやunprecedentedがついた場合には、SHORTAGEは単数形になるという結果になった。これらの結果は不足の事態の頻度がSHORTAGEの可算性選択の一つの要因である可能性を示唆すると思われる。

続いて、不足の事態の「地域の数」の影響について考察する。Part 2には「地域の数」についての部分のみを変えたテスト項目のセットが3つある。1つ目は、前述のB202と次のB213とB209である。

B213. Because of \_\_\_\_\_ in California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

- [A] shortage of drinking water < 3.0 >  
[B] a shortage of drinking water < 1.0 >

[C] shortages of drinking water < 1.8 >

B209. Because of \_\_\_\_\_ up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

[A] shortage of drinking water < 3.0 >

[B] a shortage of drinking water < 1.0 >

[C] shortages of drinking water < 1.8 >

B202のin San FranciscoやB213のin Californiaは単数地域を連想させ、B209のup and down the coast of Californiaは複数地域を連想させるという前提に立って、これらの結果をみると、どの項目においても単数形が明らかに適切となっていて、しかも、全ての可算性の数値は3つの項目を通して全く同一となっている。このことから、頻度について明示のないこのセットについては、地域の数の違いはSHORTAGEの可算性評価に影響を与えていないと解釈できそうである。

「地域の数」の影響を観察できると思われる残る2つのセットは、上の「頻度」の影響のところですでに提示したものだが、一つはB230とB234、もうひとつはB239とB222である。上と重複するが、比較を容易にするために以下に再掲する。左側（B230, B239）が地域が単数の系列で、右側（B234, B222）が地域が複数の系列となる。

Because of \_\_\_\_\_ in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

B230. [A] unprecedented shortage of DW\* < 3.0 >

[B] an unprecedented shortage of DW < 1.0 >

[C] unprecedented shortages of DW < 2.0 >

(\*D.W. = drinking water)

B239. [A] intermittent shortage of DW < 3.0 >

[B] an intermittent shortage of DW < 2.4 >

[C] intermittent shortages of DW < 1.2 >

Because of \_\_\_\_\_ up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

B234. [A] unprecedented shortage of DW\* < 2.6 >

[B] an unprecedented shortage of DW < 1.0 >

[C] unprecedented shortages of DW < 1.4 >

(\*DW = drinking water)

B222. [A] intermittent shortage of D.W. < 3.0 >

[B] an intermittent shortage of D.W. < 2.6 >

[C] intermittent shortages of D.W. < 1.0 >

まず、単数頻度を連想させるunprecedented付きのペア（B230, B234）をみると、単数地域のB230では単数形のみが適切と判断された。一方、複数地域のB234では単数形と複数形の2つが適切となった。ただし、その場合でも単数形が1.0であるのに対し、複数形は1.4であることから、地域が複数の場合でも、最も適当なのは単数形で、複数形でも可能、と解釈したほうがよいかもしれない。しかし、単数地域の状況文では不適切であった複数形が、複数地域の状況文では適切な基準を超えたという点においては、地域の数の影響がみられたということもできるかもしれない。

次に、複数頻度を連想させるintermittent付きのペア（B239, B222）では地域の数の違いの明らかな影響はみられず、どちらの場合も複数形のみが適切と判断された。

この結果は、不足の事態の頻度が単数と明示されている場合に、もし地域が複数ならば、SHORTAGEは複数形でもよくなるが、その逆、つまり、頻度が複数の場合に、地域が単数だと、SHORTAGEは単数でもよくなるということはない、という可能性を示唆するものである。したがって、SHORTAGEの可算性選択における影響力の強さについて「頻度」と「地域の数」の2つの要因を比較すると、SHORTAGEの可算性を決める要因としてより強い影響力があるのは「頻度」のほうであり、「地域の数」の方は仮に影響を与えるとしても、その影響力は弱いか、もしくは、範囲が限定的ということがいえるかもしれない。

#### 4.2.2 Xの項目数の影響

[SHORTAGE of X]におけるXの項目数が単数か複数かによってSHORTAGEの可算性に違いがでるかという疑問を検証するために、アンケートにはXの項目数が単数項目 (SHORTAGE OF DRINKING WATER) か、複数項目 (SHORTAGE OF POWER AND WATER) かの違いだけであとは全く同じテスト項目のペアが、合計15ペア入れてあった (上述のB201-B207, B224-B233, B215-B219の3ペアも含む)。それぞれのテスト項目番号と各表現の評価値のみを表にまとめると次の表1のようになる。(各項目の状況文はAppendix 2を参照されたい。)

X=単数 (SHORTAGE OF DRINKING WATER)				X=複数 (SHORTAGE OF POWER AND WATER)			
テスト項目	[A] 不可算形	[B] 単数形	[C] 複数形	テスト項目	[A] 不可算形	[B] 単数形	[C] 複数形
B201	3.0	1.0	2.4	B207	3.0	1.0	1.6
B224	3.0	1.0	2.4	B233	3.0	1.2	2.6
B215	2.8	2.2	1.2	B219	3.0	2.2	1.2
B226	1.6	2.0	1.2	B212	1.8	2.4	1.6
B206	1.4	2.4	1.8	B220	1.6	2.2	1.4
B229	1.6	2.2	1.4	B238	1.4	2.0	1.2
B211	2.2	2.2	1.2	B228	2.0	1.8	1.2
B216	3.0	1.0	1.8	B237	3.0	1.0	1.6
B227	3.0	1.2	1.2	B205	3.0	1.4	1.2
B210	3.0	1.0	1.8	B231	3.0	1.2	1.2
B223	3.0	1.0	1.8	B203	3.0	2.0	1.6
B236	3.0	1.0	1.2	B217	3.0	1.4	1.0
B204	2.8	2.0	2.0	B225	2.0	2.6	1.6
B232	2.4	1.4	2.0	B208	2.2	1.2	2.0
B214	2.8	2.4	1.2	B235	2.4	2.4	1.2
平均	2.6	1.6	1.6	平均	2.5	7	1.5

表1 Xの項目数の違いによるSHORTAGEの可算性判断の比較

表1の左(X=単数)と右(X=複数)の数値を概観すると、可算性判断の数値と適性判断のパターンに違いが観察されるテスト項目もいくつかあるが、全般的にみて、筆者にはXの項目の違いによる明白な差は確認できなかった。しいて言えば、全15項目の単数形と複数形の平均値を左右で比較すると、左では単数形、複数形が1.6で並んでいたのが、右では、それぞれ単数形1.7と複数形1.5と0.2ポイントの差で、複数形のほうを好む傾向が強まったともとれないことはないが、その差は頻度や地域の影響をみたところで観察されたような明確な差とは言い難い。

#### 4.2.3 [because of SHORTAGE of X] の構造

[SHORTAGE of X] の構造についての疑問の一つに [because of SHORTAGE of X] および [due to SHORTAGE of X] のパターンで、SHORTAGEが複数形になることはないのか、という点があった。この疑問については、すでに上で提示した、B239とB222の2つのテスト項目が [because of SHORTAGE of X] について一応の答えを出している。以下に結果を再掲する。

B239. Because of \_\_\_\_\_ in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

- [A] intermittent shortage of drinking water < 3.0 >
- [B] an intermittent shortage of drinking water < 2.4 >
- [C] intermittent shortages of drinking water < 1.2 >

B222. Because of \_\_\_\_\_ up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

- [A] intermittent shortage of D.W. < 3.0 >
- [B] an intermittent shortage of D.W. < 2.6 >
- [C] intermittent shortages of D.W. < 1.0 >

つまり、この2つのテスト項目では複数形が唯一の適切な可算性との判断をうけていたことからして、「SHORTAGEが複数形になることはある」という答えになる。そして、すでに上でみたように、状況文がB239およびB222と全く同じでも、SHORTAGEにintermittentの代りにunprecedentedが使われた場合(B239, B222)や、形容詞が使われなかった場合(B230, B234)には、SHORTAGEの適切な可算性は複数形ではなく単数形であったという結果を踏まえると、ここでSHORTAGEを複数形にする要因としては、intermittentという複数頻度を表わす形容詞の存在が考えられる。

#### 4.2.4. 不可算形が適切と判断されたテスト項目

Part 2の全39項目中、SHORTAGEの不可算形([A])が適切と判断されたテスト項目はB238の1項目であった。

B238. \_\_\_\_\_ a serious problem in many parts of the world.

- [A] Shortage of power and water is < 1.4 >
- [B] A shortage of power and water is < 2.0 >
- [C] Shortages of power and water are < 1.2 >

しかし、結果が示すように、適切と判断されたのは不可算形だけではなく、複数形も適切となっている。しかも、数値を比較すると若干の差ではあるが、複数形の方が評価が高くなっており、見方によっては、この状況文では複数形が最適であるが、不可算形でも可という判断であったとも解釈できるかもしれない。いずれにせよ、不可算形が適切と判断されたのがこの1項目のみであったことは、少なくとも、[SHORTAGE of X] の構造では、SHORTAGEという名詞は基本的には可算であり、単数形か複数形かの判断を求められる名詞であることを意味しているように思われる。

さらに、B238について気になる点は、この項目も上の [X SHORTAGE] の構造で指摘したように、SHORTAGEがBE動詞の主語の位置を占めていることである。同時に指摘しておかなければならないのは、Part 2は、他に7つのテスト項目 (B226, B212, B206, B220, B229, B211, B228) でも、SHORTAGEがBE動詞の主語で用いられているにもかかわらず、それらのテスト項目ではすべて不可算形は適切とは判断されなかったことである。このことから、上で述べた「SHORTAGEがBE動詞の主語の場合はSHORTAGEの不可算形の容認度が高まる」とする仮説は、少なくとも [SHORTAGE of X] の構造では説得力を失うことになり、せいぜい [X SHORTAGE] の構造に限定すべきということになる。

なお、Part 1 ([X SHORTAGE]) では、SHORTAGEがBE動詞の主語の場合以外にも、BE動詞の補語の場合 (B112) と [no stranger to \_] の構造の場合 (B118) に、不可算形が適切となったが、Part 2 ([SHORTAGE of X]) の中では、BE動詞の補語の項目 (B232, B208) でも、[no stranger to \_] の構造の項目 (B214, B235) でも、いずれも、不可算形は適切とはならなかった。この点は筆者にとっては大変興味深い結果である。なぜならば、このことは、基本的な状況文は同じでも、問題の「〇〇の不足」に相当する部分を [X SHORTAGE] の構造にするか、[SHORTAGE of X] の構造にするかによって、SHORTAGEの可算性判断 (とりわけ、不可算形の) に違いがでてくる可能性を示唆するものであるからである。

#### 4.2.5 2つの表現が適切と判断されたテスト項目

Part 2の中で2つの表現が適切と判断されたテスト項目は次の7項目であった。(3つ全ての表現が適切という項目はなかった。)

B238. \_\_\_\_\_ a serious problem in many parts of the world.

- [A] Shortage of power and water is < 1.4 >
- [B] A shortage of power and water is < 2.0 >
- [C] Shortages of power and water are < 1.2 >

B227. Two years ago \_\_\_\_\_ all across Japan.

- [A] there was shortage of drinking water < 3.0 >
- [B] there was a shortage of drinking water < 1.2 >
- [C] there were shortages of drinking water < 1.2 >

B205. Two years ago \_\_\_\_\_ all across Japan.

- [A] there was shortage of power and water < 3.0 >
- [B] there was a shortage of power and water < 1.4 >
- [C] there were shortages of power and water < 1.2 >

B231. Scientists predict that there will be \_\_\_\_\_ in Tokyo in the next decade or so.

- [A] shortage of power and water < 3.0 >
- [B] a shortage of power and water < 1.2 >
- [C] shortages of power and water < 1.2 >

B217. Scientists predict \_\_\_\_\_ in Japan in the next decade or two.

- [A] shortage of power and water < 3.0 >
- [B] a shortage of power and water < 1.4 >
- [C] shortages of power and water < 1.0 >

B236. Scientists predict ( ) in Japan in the next decade or two.

- [A] shortage of drinking water < 3.0 >
- [B] a shortage of drinking water < 1.0 >
- [C] shortages of drinking water < 1.2 >

B234. Because of \_\_\_\_\_ up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.

- [A] unprecedented shortage of drinking water < 2.6 >
- [B] an unprecedented shortage of drinking water < 1.0 >
- [C] unprecedented shortages of drinking water < 1.4 >

適切と判断された2つの表現の組み合わせは、最初のB238が不可算形と複数形で、残りの6項目は単数形と複数形の組み合わせとなっている。上に示した順で上から5つのテスト項目について、Follow-up Questionsで2つの表現にどのような違いがあるかをアンケート回答者のうちの4名に尋ねてみた。

まず、B238については、被験者#1と#2は共通して複数形の方が自然に聞こえるという趣旨のコメントしているが、被験者#3と#4はそれぞれ違った角度から回答している。被験者#3は両者の意味は異なるとした上で、“[A] refers abstractly to the event of a power and water shortage

without a specific context, while [C] implies that there are isolated areas in which shortages of power and water are a problem.”と説明している。ここで、抽象的に電気・水不足の事態に言及すると述べているのは、上のB111で被験者#4がやはり不可算形を“generally the ‘problem’ of water shortage ...”と表現したところと通づるところがあるように思われる。また、複数形については、“isolated areas”と述べているところから、被験者#3は、複数形から「地域の複数性」を連想していると推測される。これに対して、被験者#4は、不可算形[A]は“the shortage of both power and water is a problem”に、複数形[C]は“shortages in power, or shortages in water, or shortages in both. numerous shortages”にそれぞれ対応するという趣旨のコメントをしている。筆者はこれを次のように解釈する。つまり、不可算形を使うと電気と水がセットになって不足していることを示唆するし、複数形を使用すると、電気と水の両方が複数回／箇所でも不足している、あるいは、どちらか一方が複数回／箇所でも不足していることを示唆する。

続くB227とB205はどちらもTHERE構文、しかも、状況文はほとんど同じで、違うのはB227が [SHORTAGE of drinking water]、B205が [SHORTAGE of power and water] となっている点だけである。さらに、この2つのテスト項目はセクション4.1.3.でみたB126に対応する、いわば、B126([X SHORTAGE])の[SHORTAGE of X]版ともいえるテスト項目である。Follow-up QuestionsではB126について最初に質問したため、B227とB205については、B126と同じというコメントがほとんどであった。唯一B126に対するコメントと異なった点は、B205の単数形と複数形の違いについて、被験者#1が、ちょうど被験者#4がB238のところで述べたことと同じことを、ここで、“[B] implies that there was 1 incident where both water and power were affected. [C] implies that there were multiple incidents whether or not the water and power shortages occurred at the same time.”とコメントしていることである。

次に、B231はTHERE構文であり、さらに、[SHORTAGE of X] のX部分が電気と水というように2つということから、被験者のコメントは、B126とB236で出されたコメントを組み合わせたもので、新しい要素は提示されなかった。

最後に、B217は意味的にはB231と酷似していると思われるが、構造上、SHORTAGEは一般動詞predictの直接目的語となっていて、やはり、セクション4.1.3でみたB127 ([X SHORTAGE])の [SHORTAGE of X] 版にあたるテスト項目である。被験者のコメントも、基本的にはB127と同じというものばかりであった。

#### 4.3 Part 3 ([LACK of X])

[LACK of X] についての主な疑問点は、(1) 同じ文で不可算形と単数形のどちらも可能な場合が存在するのか。もし、存在するならば、それはどのような文で、母国語話者は不可算形と単数形の間には明確な意味の差を意識しているのか。(2) [LACK of X] がTHERE構文の実質上の主語の位置で使われた場合には、必ず単数形になるのか。(3) [LACK of X] が文頭か否かは関係があるか、といった点であった。

Part 3の全テスト項目と結果（被験者の平均値）はAppendix 3に示し、以下においては、議論に関係のあるテスト項目の結果のみを提示する。

#### 4.3.1 不可算形と単数形のどちらも可能な文

まず、同じ文で不可算形と単数形のどちらも可能な場合が存在するのかという点について、Part 3の結果をみると、意外なことに2つの表現が適切と判断されたテスト項目は1項目もなかった<sup>4</sup>。全40テスト項目中、どちらか一方の表現のみが適切と判断されたものは33項目で、残りの7項目（B301, B302, B312, B324, B331, B332, B334）はどちらの表現共、適切な基準（平均値で1.4以上）を満たさなかった<sup>5</sup>。

従って、疑問の後半部分、つまり、もし、同じ文で不可算形と単数形のどちらも可能な場合が存在するなら、母国語話者は不可算形と単数形の間に明確な意味の差を意識しているのか、という疑問は意義を失うことになった。

#### 4.3.2 THERE構文

LACKがTHERE構文の実質上の主語の位置で使われた場合、LACKは単数形になるのかという点を検証するために用意したテスト項目は、次の3項目である。（Part 3では[A]が不可算形のlack（もしくはLack）、[B]が単数形のa lack（もしくはA lack）のみで、形容詞等の修飾語の使用はない。そのため、紙面の関係で、以下でのテスト項目の表示においては、1項目め（B321）だけを実際のアンケート形式にし、2項目め（B336）以降は簡略化した形で提示する。）

B321. There is \_\_\_\_\_ of understanding about steroids. Corticoid steroids make muscle tissue shrink. Anabolics are the opposite, making the tissue grow. That's where confusion comes from.

[A] lack < 3.0 >

[B] a lack < 1.0 >

B336. There is (a) lack of funds for public works due to the recent tax cut. <[A]=3.0, [B]=1.0>

B327. Practitioners of alternative therapy acknowledge that there is (a) lack of research on the effectiveness of the new therapy. <[A]=2.4, [B]=1.0>

上の結果は3項目とも、明らかに単数形のみが適切との判断を示しており、THERE構文ではLACKが不可算形で使われる文が辞書データからもコーパスデータからも見つけれなかったとする前稿の結果と矛盾しない結果となった。

この点に関して、Follow-up questionsで、被験者5名中の4名にLACKの不可算形をTHERE構文で使って英語として適切かつ自然な文を作るように被験者に依頼し、次のような回答を得た。

[被験者#1] I cannot think of such an example which probably corresponds with my answers in that portion of the survey. To me, the “a” is more natural than omitting it and I cannot think of a contrary example.

[被験者#2] The defunct organization tried to think of where it had gone wrong: **there was lack of** commitment for starters - no one showed up for meetings or followed up their project initiatives...

[被験者#3] **There is lack of** enthusiasm in the youth of today.

[被験者#4] I can't think of anything that would sound natural to me using "there is lack/was lack".

被験者#2と#3は上のような例文を提示してくれたが、被験者#1と#4は条件にあう例文は考えつかないという回答であった。被験者#2と#3が作ってくれた上の例文がどの程度一般的なものかは、現時点では不明であるが、少なくとも人によってはTHERE構文において、不可算形を適切とする文がある可能性がでてきたことになる。しかし、被験者#1と#4のコメント、Part 3の上記3項目の結果、および前稿のコーパスデータの結果を考えると、THERE構文でのLACKは単数形が一般的で、不可算形となるには（今の時点では明らかでない）何らかの制約を満たす条件が整った文脈に限られると考えるのが妥当ではないかと考えられる。

#### 4.3.3 文頭か否か

LACKが文頭で用いられるかそれとも文中で用いられるかが、LACKの可算性に影響を与えるのかどうかを調べるために、2組のテスト項目を入れた。1組目は、次の通り。

[文頭] B310. The city has started construction on a new soccer stadium. \_\_\_\_\_ of funds, however, **forced** the city to abandon the project. <[A]= 2.0, [B]=1.0>

[文中] B304. The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, \_\_\_\_\_ of funds **forced** the city to abandon the project. <[A]= 2.2, [B]=1.0>

B304とB310の違いはUnfortunatelyという副詞があるかないかだけであるが、どちらも、明らかに[B]の単数形が適切との結果で、文頭か否かの違いがLACKの可算性判断に影響を与えている形跡はみられない。

もう1組の結果は以下の通り。

[文頭] B302. \_\_\_\_\_ of Vitamin A in children **causes** an eye disease known as

xerophthalmia, which leads to blindness. <[A]= 1.6, [B]=1.6>

[文中] B335. It has long been known that \_\_\_\_\_ of Vitamin A in children **causes** an eye disease known as xerophthalmia, which leads to blindness. <[A]= 2.2, [B]=1.0>

B302の状況文を基本文とみなすと、B335はその基本文をIt has long been known that ...に埋め込むことによりLACKが文中で現われるようにしてある。結果は文中使用のB335では明らかに[B]の単数形が適切となったが、文頭使用のB302では、[A]の不可算形も[B]の単数形もどちらも1.6となり、適切な表現が不在となった。2つの文の違いはIt has long been known thatが文頭にあるかないかだけであるが、この違いだけでなぜLACKの判断にこのような差が出るのか現時点では筆者にはわからない。被験者個人レベルでみてみると、5人中3人は判断が‘1’と‘2’で逆転していた。この限りにおいては、(文頭か文中の違いの影響の可能性も含めて) It has long been known that ...の有無がLACKの可算性に影響を与えているかのようにも解釈できる。しかし、残りの2人はB302でもB335でも一貫して単数形の方を適切と判断していたので、この限りにおいては影響はみられず、全体としての解釈はむずかしい。

以上、2組の結果からLACKが文頭に使われているか否かがLACKの可算性に関連しているかどうかの疑問にたいしては、少なくとも1組については特に影響がみられず、もう1組については判断に違いがでた部分もあるがはたしてそれが文頭か否かの違いによるものかどうかは不明といわざるをえない。

#### 4.3.4 前置詞の目的語

LACKが前置詞の目的語として用いられた場合、前置詞によってLACKの可算性が変わることがあるかを調べるために、Part 3中に全部で11のテスト項目 (B303, B313, B314, B319, B323, B324, B328, B330, B331, B332, B333) を入れた。

まず、「資金不足のために」の意味で [LACK of funds] をbecause of, due to, for, fromの目的語として使った項目として次の4つがある。(状況文の違いは問題の前置詞だけで、あとの部分は同一であるため、以下では簡略化して記述する。)

The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned ...

B313. ... **because of** (a) lack of funds. <A=2.4, B=1.0>

B328. ... **due to** (a) lack of funds. <A=1.8, B=1.2>

B331. ... **for** (a) lack of funds. <A=1.8, B=1.6>

B319. ... **from** (a) lack of funds. <A=2.6, B=1.2>

適切な表現が不在となったB331 (for) を除くと、残る3つでは、前置詞の違いにかかわらずい

れも単数形のみが適切と判断された。

次に、「証拠不足のために」の意味で [LACK of evidence] をbecause of, due to, forの目的語として使った項目として次の3つがある。

Shortly after the shooting last week, police detained two people for questioning, but they were later released ...

B330. ...because of (a) lack of evidence. <A=2.0, B=1.4>

B314.... due to (a) lack of evidence. < A=1.8, B=1.2>

B303.... for (a) lack of evidence. < A=1.2, B=1.8>

このセットではbecause ofとdue toの場合は単数形が適切と判断されたが、forの場合は逆に不可算形のほうが適切との結果となった。

次は、「睡眠不足のために」の意味で [LACK of sleep] を使った文だが、上の2組と違い、前置詞はfromの1種類にして状況文全体を変えたペアである。

B323. He was so tired **from** (a) lack of sleep that he started to hallucinate about an earthquake. <A=1.2, B=2.2>

B332. Many of the evacuees are losing strength **from** (a) lack of sleep in the shelters, where lights stay on all night. <A=1.8, B=1.8>

B332では不可算形、単数形、共に適切な基準を満たす数値に至っていないが、B323では明らかに不可算形が適切との結果になった。このB323の結果を、上の「資金不足のために」の意味で用いられたB319の [**from** (a) lack of funds] の結果と比較すると、同じ [from LACK of ...] でも、状況文によって、B323のように不可算形が適切になる場合もあるし、B319のように単数形が適切になる場合もあることになる。

以上のペア、セットの他に、単独で [to LACK of information] (B333) と [for LACK of support] (B324) を含むテスト項目を入れたが、前者では単数形が適切と判断され、後者では適切な表現不在との結果になった。(詳しい状況文はAppendix 3を参照されたい。)

以上、前置詞とLACKの可算性の関係をみると、適切な基準を満たす表現があった8項目のうち、6項目では単数形が、2項目では不可算形が、それぞれ唯一適切と判断されたことになる。しかし、「Xの不足のために」という意味の [前置詞 + LACK of X] という構造において、Xの部分と同じでも、使う前置詞が違えばLACKの可算性評価が変わってしまう可能性、また逆に、前置詞は同じでも、Xの部分や状況文が違えば、(さらには、前置詞も、Xの部分も同じであっても、それを取り囲む状況文が違えば、) LACKの可算性評価が変わってしまうという可能性も示唆される結果となり、LACKの可算性と個々の前置詞との相性の複雑な関係、ひいては、LACK

の可算性判断の複雑さの一端が明らかになったように思われる。

#### 4.3.5 その他

LACKが動詞の目的語として用いられた場合に、動詞によってLACKの可算性が異なることがあるかを検討する材料として、LACKがciteの目的語となるテスト項目を3つ (B307, B326, B339)、showの目的語となるテスト項目を2つ (B315, 317)、それぞれPart 3に入れた。結果は、動詞(および状況文)の違いにかかわらず、いずれのテスト項目においても単数形のみが適切という判断となった。

さらに、LACKが補語として用いられた場合に、LACKの可算性が状況文によって異なることがあるかを検討する材料として9つのテスト項目を入れた (B308, B309, B311, B316, B322, B325, B337, B338, B340)が、結果は全てのテスト項目において、単数のみが適切との判断となった。

最後に、Part 3全体の結果で興味深かった点は、全40項目中、不可算形が適切と判断されたテスト項目はわずか4項目 (B303, B318, B329, B323)であったことである。(適切な表現が不在だった7項目を除く、残りの30項目ではいずれも適切との判断を受けたのは単数形であった。)

B318. (A) lack of exercise is one of our biggest health problems. <[A]=1.4, [B]=1.8>

B329. (A) lack of physical activity is a prime reason many children are overweight. <[A]=1.2, [B]=1.8>

B303. Shortly after the shooting last week, police detained two people for questioning, but they were later released for (a) lack of evidence. <[A]=1.2, [B]=1.8>

B323. He was so tired from (a) lack of sleep that he started to hallucinate about an earthquake. <[A]=1.2, [B]=2.2>

この4つのテスト項目をみると、B318とB329ではLACKが文頭にきており、B303とB323では前置詞forとfromの目的語になっている。すでに上でみたように、LACKが文頭に用いられたり、forやfromのあとに用いられた場合でも、単数形が適切と判断されたテスト項目も存在したわけなので、文頭やforやfromの目的語という要因がLACKが不可算形でつかわれる十分条件でないことは明白であるが、これら以外のさまざまな状況文(LACKが補語、動詞の目的語として用いられた場合やTHERE構文で用いられた場合など)では、すべて単数形が適切と判断されたことから、あえて大胆な推測をするとすれば、「LACKは基本的には単数形だが、もしLACKが不可算形の方が適切となる文があるとすれば、それは文頭で使用される場合か、もしくは[for lack of ...]か[from lack of ...]の表現で使用される場合かに限られる」ということが考えられる。しかし、もしそうになると、前稿でみたコーパスデータの結果との兼ね合いで、新たな疑問が生まれてくる。つまり、コーパスデータでは、LACKの不可算形と単数形はほぼ半々の割合で確認されたわけ

で、もし、LACKは単数形が好まれる／一般的というのであれば、なぜコーパスデータはその傾向を反映していないのだどうか、という点が疑問として残る。

## 5 まとめ

本稿は、英語母国語話者を対象にしたアンケート調査、およびその追加調査、の結果を基にSHORTAGEとLACKの可算性について考察し、前稿で行った辞書・コーパスを基にした分析から生じた疑問を解明しようと試みたものである。

[X SHORTAGE] の構造におけるSHORTAGEにの可算性について、明らかになったこと、および筆者が推測したことをまとめると、次のようになる。

- 不足の事態の「頻度数」と「地域の数」という2つの要因については、概ね、「頻度」の単・複がSHORTAGEの単数形・複数形にそれぞれ対応し、地域の単・複もSHORTAGEの単数形・複数形にそれぞれ対応するという結果が得られ、これらの要因がSHORTAGEの可算性に関与している可能性が確認された。
- (意外な結果として) 前稿のコーパスデータで使用頻度が極端に低かったSHORTAGEの不可算形が、今回のアンケート調査では適切と判断された項目が5項目確認された。しかし、これらの状況文の分析から、SHORTAGEを不可算形で使うことには、SHORTAGEがBE動詞の主語もしくは補語の位置を占める場合、および、[no stranger to \_\_\_] などのような決まった表現の中、というように、かなり制約がある可能性がある、との推測を行った。
- 同じ文で2つの表現が適切と判断されたテスト項目が3項目確認された。ニュアンスの違いについて説明を求めたFollow-up Questionsの回答から、単数形は、水不足という事態が発生した回数が1回、地域が1ヶ所という基本的な意味に加えて、問題の水不足の影響が及ぶ範囲の広さや深刻さを、一方、複数形は、頻度が複数、地域の数が複数ヶ所であることに加えて、個々の不足の事態のお互いの孤立性を示唆する場合もある、ということが明らかになった。

次に、[SHORTAGE of X] の構造におけるSHORTAGEの可算性について明らかになったこと、および筆者が推測したことは以下のとおりである。

- 不足の事態の「頻度数」については、概ね、「頻度」の単・複がSHORTAGEの単数形・複数形にそれぞれ対応し、SHORTAGEの可算性に関与している可能性が確認された。
- 不足の事態の「地域の数」については、地域が複数の方が単数のときよりも、SHORTAGEの容認度が高まる傾向は観察されたが、いつも複数形が適切、もしくは最適、と判断されたわけではなく、その影響力は「頻度数」に比べて弱いという可能性が示唆された。
- [SHORTAGE of X] におけるXの項目数が単数か複数かによってSHORTAGEの可算性に違いがでるかという疑問については、違いは出ないという結論に達した。
- [because of SHORTAGE of X] のパターンではSHORTAGEが複数形になることはないのか

という疑問については、複数形になることもあるということが判明した。そして、その際、複数形になるか単数形になるかは、頻度数についての状況判断が関与していると推測された。

- SHORTAGEの不可算形が適切と判断されたのは1項目だけ確認された。その項目はSHORTAGEがBE動詞の主語の位置にあったが、同じ統語位置の他のテスト項目ではすべて不可算形は不適切と判断されたこと、および、SHORTAGEがBE動詞の補語の位置を占める場合や [no stranger to \_\_\_] の表現の中でも不適切と判断されたことから、少なくとも [SHORTAGE of X] の構造においては、SHORTAGEは基本的に可算であり、単数形か複数形かの判断を求められる名詞であると推測された。
- [X SHORTAGE] の構造にするか、[SHORTAGE of X] の構造にするかによって、SHORTAGEの可算性判断（とりわけ、不可算形の）に違いがでてくる可能性が示唆された。
- 同じ文で2つの表現が適切と判断されたテスト項目が7項目確認された。上述の [X SHORTAGE] でのニュアンスの違いの他に、[SHORTAGE of X] の構造特有なものとして、Xがpower and waterのように複数項目の場合に複数形を使用すると、電気と水の両方が複数回／箇所で不足している、あるいは、どちらか一方が複数回／箇所で不足していることを示唆するが、単数形もしくは不可算形した場合は電気と水がセットになって不足していることを示唆する、との違いが指摘された。

最後に、LACKの可算性について明らかになったこと、および筆者が推測したことを要約すると次のようになる。

- 同じ文でLACKが不可算形と単数形のどちらも適切と判断されたテスト項目は1項目も確認されなかった。
- THERE構文でのLACKは単数形が一般的と思われる。THERE構文での不可算形の使用の可能性は示唆されたが、個人により判断が異なる可能性もあり、少なくとも不可算形は単数形よりかなり強い制約を受けるとと思われる。
- LACKが主語の位置にある場合に、文字どおり文頭にきているときと、その前にFortunatelyやIt has been long known that ...などの語句がきているときとで、LACKの可算性に变化があるかという疑問については、状況文によっては変化がでる場合がある可能性が示唆された。
- LACKが前置詞句の中で使われた場合に、特定の前置詞とLACKの可算性に対応関係があるかどうかの疑問については、非常に複雑な結果となった。つまり、[LACK of X] のXの部分が同じでも、使う前置詞が違えばLACKの可算性評価が変わってしまう可能性、また逆に、前置詞は同じでも、Xの部分や状況文が違えば、LACKの可算性評価が変わってしまうという可能性も示唆される結果となった。
- LACKの単数形が適切と判断されたテスト項目が30項目であったの対し、不可算形が適切と判断されたテスト項目はわずか4項目しかなく、前稿のコーパスデータではほぼ半々であった

割合とはかなり異なる結果となった。LACKは基本的には単数形だが、文頭で使用される場合、もしくは [for lack of ...] か [from lack of ...] の表現で使用される場合には不可算形が適切となる場合もあるとの推測がなされた。

今回の分析の主なデータは、問題の名詞の可算性の適切さを3段階で評価するという実際の言語使用とは異なる形式のアンケート調査を、わずか5名の英語母国語話者を対象に実施して得た結果(評価の平均値)であった。平均で1.4以上を適切な表現と判断するという基準のもとに分析したが、実際には1.6の評価を得た項目も多数あり、それらは全て不適切として処理された。さらに、平均値をデータとして利用したことにより、被験者間の評価のばらつきや違いは無視された。特に、最後の被験者間の評価のばらつきの問題については、なぜ英語母国語話者同士の間で評価が異なるのか、どういう状況で評価にばらつきが起ころうのか、などという点については全く触れていない。今後の研究で、これらの方法論上の問題点を少しでも改善しながら、本稿で当初の疑問に答える試みの過程で新たに出てきた多くの未解決な疑問点を探究していきたい。

## 引用文献

日木 (1997) 「「不足」の可算性: SHORTAGEとLACK — 1 —」『名古屋市立大学人文社会学部研究紀要』3, pp. 73-97.

## 注

1. 筆者の不注意で、前稿ではこの点についての数値を提示していなかった。
2. ここで、[X SHORTAGE]と[SHORTAGE of X]の順序が、上のセクション2.1, 2.2および前稿で提示した順序と逆転しているが、それは[SHORTAGE of X]の方がXの項目数という要因を考慮するぶん複雑になるため、まず、[SHORTAGE of X]のテスト項目を作製した上で、それを基礎に[SHORTAGE of X]のテスト項目を作るという順序が自然であり、結果の分析をする際にも容易であると考えたためである。
3. 筆者の不注意で、この状況文に誤りがあった。“\_\_\_\_\_ in the town.”は誤りで、正しくは“\_\_\_\_\_ up and down the coast of California.”であった。
4. ただし、被験者個人レベルでは、一人が6項目(B301, B302, B314, B320, B328, B329)で、もう一人が2項目(B308, B320)で、不可算形と単数形の両方を“1”と評価していた。この点は大変興味のあるところであるが、個人差の問題は別の機会に譲りたい。
5. ここでの議論から少し離れるが、不可算形も単数形もどちらの表現も適切な基準を満たさなかったテスト項目が存在したという点は筆者にとっては大変興味深い。なぜなら、第1に、全てのテスト項目は状況文作成の段階で複数の英語のネイティブスピーカーのチェックを受けていたものであり、少なくともLACKのどちらか一方は適当と判断されるものと予想していたからである。(当然、チェックの段階での考え違いや不注意による誤りも考えられるが、7項目というのはそれにしては多すぎるように思われる。)第2に、これらの項目に対する被験者5人の個々の判断をみても、どの項目のどちらのLACKにも‘1’と答えた被験者が必ず1名は存在した。これらの結果は、ネイティブスピーカーの間での判断のばらつきを示すもので、なぜ人によって意見が異なるのか、また、意見の異なるネイティブスピーカー同士がお互いのことをどう評するかなど、今後の研究で調べてみたい。

## Appendix 1 (Part 1)

項目#	状 況 文	[A] 不可 算形	[B] 単数 形	[C] 複数 形
B101	Because of <u>(a) water shortage(s)</u> in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	3.0	1.6	1.4
B102	<u>(A) water shortage(s) is/are</u> a source of annoyance for many people.	2.4	2.2	1.2
B103	The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. There is/are <u>(a) water shortage(s)</u> as a result.	3.0	1.2	2.0
B104	Because of <u>(a) water shortage(s)</u> in California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	3.0	1.2	1.8
B105	Two years ago <u>there was/were (a) water shortage(s)</u> in Tokyo.	3.0	1.0	1.8
B106	Scientists predict that there will be <u>(a) water shortage(s)</u> in Tokyo in the next decade or so.	3.0	1.2	1.6
B107	Because of <u>(an) unprecedented water shortage(s)</u> up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	3.0	1.6	1.2
B108	<u>(A) water shortage(s) is/are</u> a serious problem in many parts of the world.	1.4	3.0	1.6
B109	(On a local TV program in San Francisco) "Good morning. Welcome to this week's edition of 'Wah't's-going-on?' Today's topic is <u>(a) water shortage(s)</u> ."	1.8	3.0	1.6
B110	Because of <u>(a) chronic water shortage(s)</u> in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	2.0	2.4	1.6
B111	If the population predictions come true, <u>(a) water shortage(s) is/are</u> going to become a part of life in California.	1.4	3.0	1.0
B112	The most serious problem facing the city is <u>(a) water shortage(s)</u> .	1.0	2.8	2.0
B113	Because of <u>(a) water shortage(s)</u> up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	2.6	1.8	1.2
B114	Scientists predict that Tokyo will have <u>(a) water shortage(s)</u> in the next decade or so.	3.0	1.6	1.2
B115	Only <u>(a) water shortage(s)</u> could explain the poor harvest that year.	1.8	2.0	1.8
B116	The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. <u>There is/are (a) chronic water shortage(s)</u> as a result.	2.2	1.6	1.6
B117	Because of <u>(an) intermittent water shortage(s)</u> in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	2.4	2.4	1.4
B118	Southern California is no stranger to <u>(a) water shortage(s)</u> in the long, hot months of summer.	1.2	3.0	1.6
B119	Due to <u>(a) water shortage(s)</u> in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	2.6	1.0	1.6
B120	To date, precipitation has been only 30 % of average throughout the state. Still, California will not have <u>(a) water shortage(s)</u> according to the state's chief hydrologist. This is because water left over from last season is 150 % of normal.	3.0	1.2	1.8
B121	Because of <u>(an) intermittent water shortage(s)</u> up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	2.2	2.2	1.6
B122	The most serious problem the city faces is <u>(a) water shortage(s)</u> .	1.6	2.2	1.8
B123	The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. <u>There is/are (an) intermittent water shortage(s)</u> as a result.	3.0	1.0	2.4
B124	<u>(A) water shortage(s)</u> a serious problem in Tokyo.	1.0	2.4	1.6
B125	Because of <u>(a) chronic water shortage(s)</u> up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	2.4	1.8	1.0
B126	Two years ago <u>there was/were (a) water shortage(s)</u> all across Japan.	2.8	1.4	1.4
B127	Scientists predict <u>(a) water shortage(s)</u> in Japan in the next decade or two.	2.2	1.4	1.4

B128	The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. <u>There was/were (an) intermittent water shortage(s)</u> as a result.	3.0	1.0	2.4
B129	Because of <u>(an) unprecedented water shortage(s)</u> in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	2.6	1.0	1.8
B130	(Assume that the town has been intermittently short of water.) <u>There has/have been (a) water shortage(s)</u> in the town.	2.6	2.2	1.0
B131	(Assume that the town has been short of water for the past two years.) <u>There has/have been (a) water shortage(s)</u> in the town.	2.8	1.4	2.0
B132	(Assume that the town has been chronically short of water.) <u>There has/have been (a) water shortage(s)</u> in the town.	2.2	1.0	2.0
B133	(Assume that many cities and towns up and down the coast of California have been intermittently short of water.) <u>There has/have been (a) water shortage(s)</u> up and down the coast of California.	2.6	2.6	1.0
B134	(Assume that many cities and towns up and down the coast of California have been short of water for the past two years.) <u>There has/have been (a) water shortage(s)</u> up and down the coast of California.	2.6	1.0	1.6
B135	(Assume that many cities and towns up and down the coast of California have been chronically short of water.) <u>There has/have been (a) water shortage(s)</u> up and down the coast of California.	2.6	1.6	1.4

Appendix 2 (Part 2)

項目#	状 況 文	[A] 不可 算形	[B] 単数 形	[C] 複数 形
B201	The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. <u>There is/are (a) shortage(s) of drinking water</u> as a result.	3.0	1.0	2.4
B202	Because of <u>(a) shortage(s) of drinking water</u> in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	3.0	1.0	1.8
B203	Scientists predict that Tokyo will have <u>(a) shortage(s) of power and water</u> in the the next decade or so.	3.0	2.0	1.6
B204	(On a local TV program in San Francisco) "Good morning. Welcome to this week's edition of 'What's-going-on?' Today's topic is <u>(a) shortage(s) of drinking water</u> ."	2.8	2.0	2.0
B205	Two years ago <u>there was/were (a) shortage(s) of power and water</u> all across Japan.	3.0	1.4	1.2
B206	<u>(A) shortage(s) of drinking water is/are</u> a serious problem in Tokyo.	1.6	2.4	1.8
B207	The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. <u>There is/are (a) shortage(s) of power and water</u> as a result.	3.0	1.0	1.6
B208	The most serious problem facing the city is <u>(a) shortage(s) of power and water</u> .	2.2	1.2	2.0
B209	Because of <u>(a) shortage(s) of drinking water</u> up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	3.0	1.0	1.8
B210	Scientists predict that there will be <u>(a) shortage(s) of drinking water</u> in Tokyo in the next decade or so.	3.0	1.0	1.8
B211	If the population predictions come true, <u>(a) shortage(s) of drinking water is going</u> to become a part of life in California.	2.2	2.2	1.2
B212	<u>(a) shortage(s) of power and water</u> is a source of annoyance for many people.	1.8	2.4	1.6
B213	Because of <u>(a) shortage(s) of drinking water</u> in California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	3.0	1.0	1.8

B214	Southern California is so stranger to <u>(a) shortage(s) of drinking water</u> in the long, hot months of summer.	2.8	2.4	1.2
B215	The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. <u>There is/are (an) intermittent shortage(s) of drinking water</u> as a result.	2.8	2.2	1.2
B216	Two years ago <u>there was (a) shortage(s) of drinking water</u> in Tokyo.	3.0	1.0	1.8
B217	Scientists predict <u>(a) shortage(s) of power and water</u> in Japan in the next decade or two.	3.0	1.4	1.0
B218	Due to <u>(a) shortage(s) of drinking water</u> in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	2.6	1.2	1.8
B219	The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. <u>There is/are (an) intermittent shortage(s) of power and water</u> as a result.	3.0	2.2	1.2
B220	<u>(A) shortage(s) of power and water is</u> a serious problem in Tokyo.	1.6	2.2	1.4
B221	To date, precipitation has been only 30 % of average throughout the state. Still, California will not have <u>(a) shortage(s) of drinking water</u> according to the state's chief hydrologist. This is because water left over from last season is 150 % of normal.	3.0	1.0	2.0
B222	Because of <u>(an) intermittent shortage(s) of drinking water</u> up and down the coast California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	3.0	2.6	1.0
B223	Scientists predict that Tokyo will have <u>(a) shortage(s) of drinking water</u> in the next decade or so.	3.0	1.0	1.8
B224	The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. <u>There is/are (a) two-year shortage(s) of drinking water</u> as a result.	3.0	1.0	2.4
B225	(On a local TV program in San Francisco) "Good morning. Welcome to this week's edition of 'What's-going-on?' Today's topic is <u>(a) shortage(s) of power and wate."</u>	2.0	2.6	1.6
B226	<u>(A) shortage(s) of drinking water is</u> a source of annoyance for many people.	1.6	2.0	1.2
B227	Two years ago <u>there was/were (a) shortage(s) of drinking water</u> all across Japan.	3.0	1.2	1.2
B228	If the population predictions come true, <u>(a) shortage(s) of power and water is/are</u> going to become a part of life in Carifornia.	2.0	1.8	1.2
B229	<u>(A) shortage(s) of drinking water is/are</u> a serious problem in many parts of the world.	1.6	2.2	1.4
B230	Because of <u>(an) unprecedented shortage(s) of drinking water</u> in San Francisco, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	3.0	1.0	2.0
B231	Scientists predict that there will be <u>(a) shortage(s) of power and water</u> in Tokyo in the next decade or so.	3.0	1.2	1.2
B232	The most serious problem facing the city is <u>(a) shortage(s) of drinking water.</u>	2.4	1.4	2.0
B233	The city has grown from 35,000 people in 1970 to more than 100,000. <u>There is/are (a) two-year shortage(s) of power and water</u> as a result.	3.2	1.2	2.6
B234	Because of <u>(an) unprecedented shortage(s) of drinking water</u> up and down the coast of California, the authorities have asked residents to voluntarily curtail all car-washing activities.	2.6	1.0	1.4
B235	Southern California is no stranger to <u>(a) shortage(s) of power and water</u> in the long, hot months of summer.	2.4	2.4	1.2
B236	Scientists predict <u>(a) shortage(s) of drinking water</u> in Japan in the next decade or two.	3.0	1.0	1.2
B237	Two years ago there was/were <u>(a) shortage(s) of power and water</u> in Tokyo.	3.0	1.0	1.6
B238	<u>(A) shortage(s) of power and water is/are</u> a serious problem in many parts of the world.	1.4	2.0	1.2
B239	Because of <u>(an) intermittent shortage(s) of drinking water</u> in San Francisco, the authorities have asked residents voluntarily curtail all car-washing activities.	3.0	2.4	1.2

Appendix 3 (Part 3)

項目#	狀 況 文	[A] 單數 形	[B] 複數 形
B301	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned. <u>(A) lack</u> of funds was a major reason.	1.6	1.6
B302	<u>(A) lack</u> of Vitamin A in children causes an eye disease known as xerophthalmia, which leads to blindness.	1.6	1.6
B303	Shortly after the shooting last week, police detained two people for questioning, but they were later released for <u>(a) lack</u> of evidence.	1.2	1.8
B304	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, <u>(a) lack</u> of funds forced the city to abandon the project.	2.2	1.0
B305	Despite the commonly held view that <u>(a) lack</u> of siblings was a negative influence, it has been discovered that an only child does not become selfish or maladjusted.	2.0	1.4
B306	Local residents would like to see the new center open on Saturdays, too and eventually every day, but <u>(a) lack</u> of funding makes that impossible now.	2.4	1.0
B307	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned. The mayor cited <u>(a) lack</u> of funds as the major reason.	2.0	1.2
B308	Research indicates that the chief reason people don't exercise is <u>(a) lack</u> of time, a spokeswoman for the Council on Exercise said.	1.8	1.2
B309	His article on the younger generation's discontent with the new pension system leads me to believe that the real problem is <u>(a) lack</u> of understanding of what the pension system is meant	2.2	1.0
B310	The city has started construction on a new soccer stadium. <u>(A) lack</u> of funds, however, forced the city to abandon the project.	2.0	1.0
B311	She has been doing quite well in her new school. Her only problem is <u>(a) lack</u> of confidence.	2.6	1.0
B312	<u>(A) lack</u> of physical activity is considered the single most important factor in rising childhood obesity rates.	1.8	1.6
B313	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned because of <u>(a) lack</u> of funds.	2.4	1.0
B314	<b>Shortly after the shooting last week, police detained two people for questioning, but they were later released due to <u>(a) lack</u> of evidence.</b>	1.8	1.2
B315	"No, I wouldn't want to institute mandatory drug testing on athletes. It shows <u>(a) lack</u> of trust in our young people."	2.8	1.0
B316	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned. It was <u>(a) lack</u> of funds that forced the city to make such a decision.	2.6	1.0
B317	At the elementary schools, 60% of the fourth-graders showed <u>(a) lack</u> of understanding of basic math concepts.	2.6	1.0
B318	<u>(A) lack</u> of exercise is one of our biggest health problems.	1.4	1.8
B319	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned from <u>(a) lack</u> of funds.	2.6	1.2
B320	There was speculation that <u>(a) lack</u> of interest in the event may have been the real reason for the cancellation, but the mayor said, "I can assure you that this was not the case."	1.6	1.0
B321	There is <u>(a) lack</u> of understanding about steroids. Cortical steroids make muscle tissue shrink. Anabolics are the opposite, making the tissue grow. That's where confusion comes from.	3.0	1.0
B322	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned. It was <u>(a) lack</u> of funds, not of community support, that forced the city to make such a decision.	2.6	1.2
B323	He was so tired from <u>(a) lack</u> of sleep that he started to hallucinate about an earthquake.	1.2	2.2
B324	People criticized the mayor for <u>(a) lack</u> of support of the new city project.	1.6	2.2

B325	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned. The major reason was <u>(a) lack</u> of funds.	1.8	1.4
B326	The Los Angeles Festival has announced that it has put on hold plans for its next event. In a prepared statement, festival officials cited <u>(a) lack</u> of potential private and government arts funding comparable to that needed for past multimillion-dollar festivals.	1.8	1.4
B327	Practitioners of alternative therapy acknowledge that there is <u>(a) lack</u> of research on the effectiveness of the new therapy.	2.4	1.0
B328	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned due to <u>(a) lack</u> of funds.	1.8	1.2
B329	<u>(A) lack</u> of physical activity is a prime reason many children are overweight.	1.2	1.8
B330	Shortly after the shooting last week, police detained two people for questioning, but they were later released because of <u>(a) lack</u> of evidence.	2.0	1.4
B331	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned for <u>(a) lack</u> of funds.	1.8	1.6
B332	Many of the evacuees are losing strength from <u>(a) lack</u> of sleep in the shelters, where lights stay on all night.	1.8	1.8
B333	She believes that our educational problems are not linked to <u>(a) lack</u> of information, but rather to information overload combined with our inability to provide a first-rate learning environment. Smaller classes would benefit students far more than a computer on each desk.	2.0	1.4
B334	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned. <u>(A) lack</u> of funds was the major reason.	1.6	1.6
B335	It has long been known that <u>(a) lack</u> of Vitamin A in children causes an eye disease known as xerophthalmia, which leads to blindness.	2.2	1.0
B336	There is <u>(a) lack</u> of funds for public works due to the recent tax cut.	3.0	1.0
B337	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned. It was not <u>(a) lack</u> of funds, but of community support, that forced the city to make such a decision.	2.2	1.4
B338	She had been doing quite well in her new school. Her only problem was <u>(a) lack</u> of confidence.	2.0	1.2
B339	Asked by a member of the crowd why nothing had been done previously, a top official with the State Cemetery Board cited <u>(a) lack</u> of personnel. The executive officer said he has only one part-time inspector to cover the 200 cemeteries in California.	2.0	1.2
B340	The city has started construction on a new soccer stadium. Unfortunately, the project had to be abandoned. A major reason was <u>(a) lack</u> of funds.	1.6	1.4